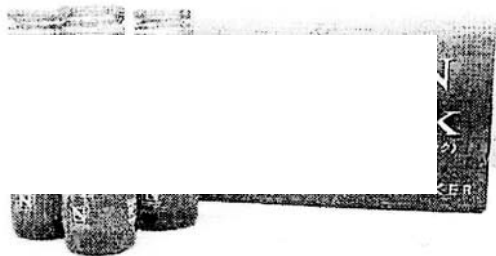


# 「老化予防」で販路開拓

細胞外基質研究所がドリンクと美容液

## タンパク質 エラスチン配合



リリーウォーカーと共同開発した「エラスチンドリンク」

【津】三重大学発ベンチャーの細胞外基質研究所（本社津市南が

丘3の23の10、宮本啓一社長、電話059・231・9480）は、

「エイジング」商品として販路を開拓する。

新商品は人材派遣などを手がける、リリーウォーカー（本社津市久居明神町1180の117、西村有理社長、電話059・255・3030）と共同開発した。

細胞とともに人体を形成する細胞外基質に含まれるタンパク質「エラスチン」を使った美容ドリンクと美容液を相次いで開発した。顔などのしわの発生を抑制する効果

の成形成工技術を活用し、人工血管や人工皮

唐などの再生医療研究材料を大学などの研究機関に提供してきている。  
新商品はこれまでの研究成果を生かすともに、エラスチン製造への進出を計画していたリリーウォーカーと連携して開発した。美容飲料の「エラスチンドリンク」は豚由来のエラスチンを200ミリグラムとふんだんに使用したのが特長。  
1月中旬からインターネットショッピングモールで販売を始めており、販売価格は1本（50ミリ入り）314円、10本セット2978円。美容液の「エラスチン美容液」はエラスチンを1千ミリグラム配合した高濃度の化粧品。販売価格は1本（20ミリ入り）8500円で、3月上旬に発売する予定。  
宮本社長は「健康食品関連の展示会への出展などを通じて新商品をPRしていきたい」としている。